

令和6年度 長崎県立長崎北陽台高等学校「ふるさと教育」体系図

名称

陽の丘の時間[HAL-Time] <Hinooka Active Learning>

本校のグラデュエーション・ポリシー(育成したい生徒像)

よりよい人生を創造するとともに、長崎県をはじめ世界の持続的な成長・発展に貢献するために必要な資質・能力である、「知力」「徳力」「体力」をバランスよく身に付けた生徒を育成します。

「知力」は、自分の希望する進路を実現するために必要な学力はもとより、学んだことを活用して新しい価値観等を創造していく力と意欲をさします。

「徳力」は、社会的課題や学術的疑問を解決するために必要な、情報を収集・分析する力、協働する力、持続する力、実践する力などをさします。

「体力」は、変化に激しい社会を生き抜くための基盤となるものであり、持久力などの総合的な身体能力とスポーツに親しみ健康に生きようとする姿勢をさします。

<<目標>>

【普通科】

地域社会の実情を調べ、社会的な課題を見出し、その解決策を検討・具体化の中で、地元長崎県や日本の実情を理解し、主権者としての意識をもって社会で活躍できる人材の育成を目指す。地域課題探究に取り組む中で、地域社会の実情に関する知識を獲得し、社会の仕組みに関する理解を促すとともに、思考力・判断力や協働する力、ふるさと長崎県への愛着や持続可能な発展を求める姿勢を育成する。

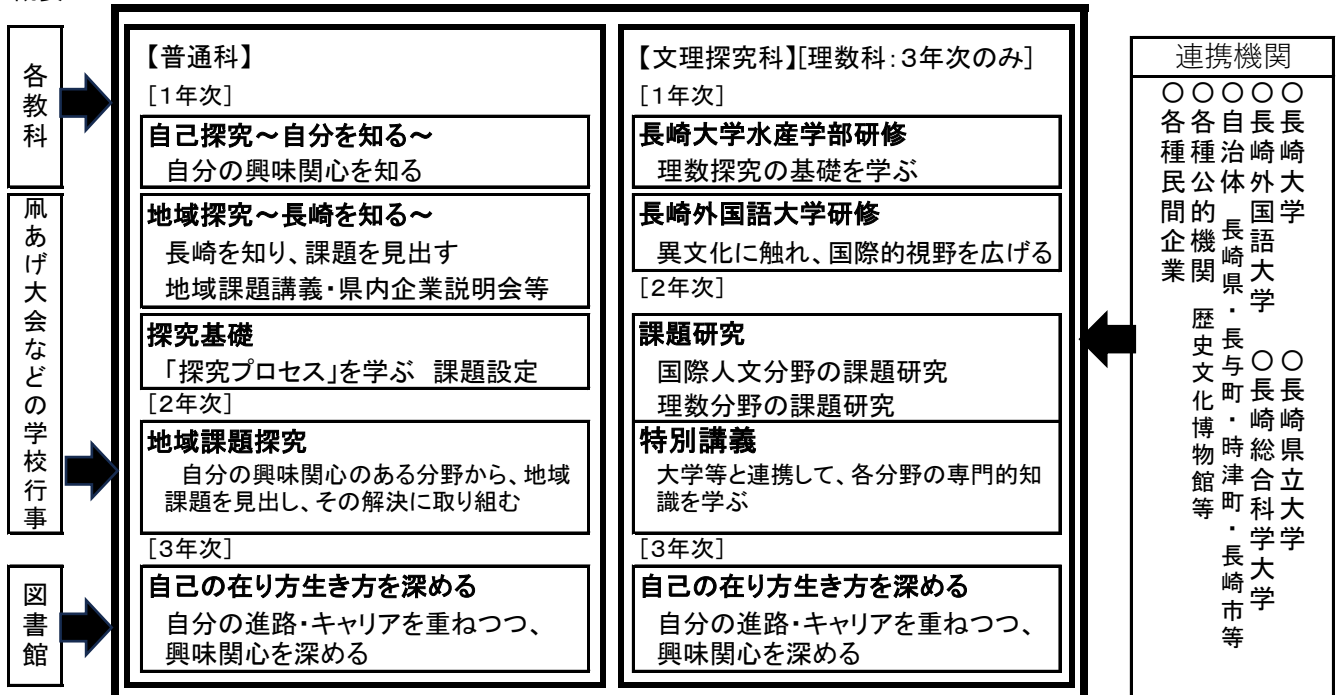
【文理探究科】

学術的な体験や研究を通じて、科学的な見方・考え方を身に付け、長崎県だけでなく世界の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指す。大学や研究所等での研修や講義・研修旅行などを通じて、実験や調査による科学的根拠を基に考察し、論理的な思考力・判断力や学術的なアプローチする技能、科学的根拠をもとに思考・行動しようとする態度を育成する。

<<育成したい資質・能力>>

- 実社会や実生活における課題を見出し、その解決に向けて、主体的・創造的に取り組むことができる。
- 必要な情報を収集・分析し、自分の意見や考えをまとめ、論理的に表現することができる。
- 異文化や他者を理解し、互いのよさを生かしながら、コミュニケーションを取りつつ、協働することができる。
- 自己の在り方生き方について具体的に考え、高い志を持って、新しい未来を創造することができる。
- 「長崎」の文化や歴史等を理解し、ふるさとへの愛着や誇りを持ち、長崎の持続可能な発展に貢献できる。

<<概要>>



<<成果指標>>

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ○育成したい資質・能力が以前より身に付いたと思う生徒の割合 | 80%以上 |
| ○生徒の主体性や協働性が以前より向上したと思う教員の割合 | 80%以上 |
| ○将来ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まった生徒の割合 | 85%以上 |